

1980年
第7回

【タイトル】

青空天国いこいの広場 「深めよう！！親と子のふれあいを・・・」



委員会名
事業委員長

委員長
大西 豊先輩

日 時
5. 5

会 場
維新百年記念公園

日ごろの親と子の断絶を解きほぐすことに適した企画で、より社会的にも重要な役割を果たし、過去最高の4万5千人の人出でにぎわった。

この年、山口青年会議所は、創立25周年。担当の大西委員長も、青天よりも周年事業の記憶の方が強いとのことでした。実施形態も、山口青年会議所統一事業というかたちで実施され、開催は例年の9月第1日曜日から、5月5日こどもの日に変更し実施された。

メイン事業

- 当時の人気漫才 海原 しおり・かおりのショー
- 掘り出し市 毛皮のコート等出品され盛況だった
- その他 例年と同じ

組織・予算

- 実行委員会（30団体、関係者550人）

思いが伝わった？

- 関係者の輪が年々大きくなってきており、青年会議所活動が地域に密接に結びついていると感じた。

1981年
第8回

【タイトル】

青空天国いこいの広場 「ふれあいの輪を広げよう」



委員会名
事業推進委員会

委員長
乃美 宣彦先輩

日 時
9. 6
天候：晴れ

会 場
維新百年記念公園

メイン事業

- 福祉の市（国際障害者年にちなんで実施）
- ポニーと遊ぼう
- レンジャー部隊
- アマチュアバンド大会
- 集まれちびっこクイズ大会
- あゆのつかみどり

組織・予算

- 実行委員会（約30団体）

人気のあった事業

- トランポリン
- ポニーと遊ぼう
- 福祉の市

思いが伝わった？

- 青天がちょうど市民に定着し始めた頃。体制的にも、運営的にもスムーズだった。

思い残しがある点

- JC内の各委員会とももう少し連絡調整をとりたかった。

これからの青天に期待すること

- 自分のこどもも楽しみにしていた。こどものためになるイベントとして、永久に続いてほしい。

1982年
第9回

【タイトル】

青空天国いこいの広場



委員会名
事業推進委員会

委員長
田村 光生先輩

日 時
5. 5
天候：晴れ

会 場
維新百年記念公園

メイン事業

トランポリン、ゴムボート

組織・予算

他団体を含めた実行委員会組織。

思いが伝わった？

それぞれが大反響

人気のあった事業

それぞれが大反響

思い残しがある点

完全燃焼だったので特になし。

これからの青天に期待すること

それぞれの時代に合った企画をして欲しい